

スキトレ企画書

作成日：2024年 06月 14日

校名： とふろう南 企画者： 吉川

活動名：み～つけた！

本活動の着眼点

視知覚機能の苦手さによる困り感を抱える児童に焦点を当て、本活動を立案

本人支援 5 領域とのつながり

健康・生活 認知・行動 運動・感覚

言語・コミュニケーション 人間関係・社会性

生活上の困り感 /目的・趣旨(ねらい)

読み書きが苦手 眼球運動の発達促進

探し物が苦手（時間がかかる） 視覚認知機能向上

活動の概要

【場所】

活動室等一番広い部屋

【所要時間】

約 10 分程度

【人数】

1人～

【対象者】

・視覚のマッチングができる児童

（同じ形はどれでしよう、が分かる）

・～8歳

【必要な道具】

A.お題カード（プリント・カード・パネル等）2枚1組×10組程度

or

B.お題カード（プリント・カード・パネル等）（参加人数+1）×3～5組程度

活動の進め方

【スタッフの事前に準備する物・内容】

・お題：クレヨンや水筒など身近な物

・お題が書かれたカードやプリント等を部屋の壁や床に貼る

【進行方法・ルール】

活動内容

A. 参加者全員で1つのお題から1つの場所を探す活動

1. お題カードを提示
2. お題カードと同じものを探し、タッチする
3. タッチしたものとお題カードが合っているかを確認する
4. 次のお題を実施する（開始位置に戻ってもその場からでも良い）

B. 1つのお題から1人1か所ずつ場所を探す活動

活動内容はAと同じ

スキトレ企画書

タッチではなくカードを回収して進行スタッフに渡すことでクリアとなる
進行方法

1. 部屋の中心もしくは隅1か所（お題の貼られていない場所）に集まる
2. 活動内容の説明を行う（説明中にお題カードを配置してもよい）
3. 実施
4. 挨拶をして終了する

【進行上の留意点】

- ・押し合い取り合いが予測される為事前に声掛け・個別対応
- ・衝突や転倒等予測される為事前に声掛け・個別対応
- ・お題カードは提示したままにする

【役割：進行、個別対応】

進行：1人

個別対応：必要数

スタッフの着目点

- ・何を見て動いているか
周りの人を見て動いている
(Bの活動は周りを見てから動くだけではクリアできなくなっている)
- 貼られたカードを見て動いている
(どちらも目的に沿った運動だが、カードを見て動く方が好ましい)

活動を行う上での注意点

- ・児童同士のトラブルが生じやすい活動である為十分に注意する

予算

- ・お題カード 印刷費

計0円～

その他

- ・上手にできたかどうかよりも楽しく参加できたかどうかが重要
- ・目を動かして探す動きがトレーニングになる

ステップアップ

1. カードやプリントではなく実物で実施する（お題提示はカード等を使用する）
2. お題の提示方法を言語のみにする
3. ヒントを頼りに探す（例：色を塗るときに使うものです→色鉛筆・クレヨンなど）